

<b>2 事業の概要と成果</b>	
(1) プロジェクト目標の達成度（今期事業達成目標）	<p>ラグマン県の大規模小学校に1棟の学校図書館、またナンガハル県に1棟の子ども図書館がそれぞれ建設された。建設された学校図書館関係職員計90名と子ども図書館関係職員計9名が、図書館活動及び図書館の運営・管理に関する研修に参加し育成された。本事業の調整に携わった地域住民及び関連機関の職員や研修を実施したトレーナーにより、移動図書館などのキャンペーンや啓発活動を実施することで子どものための図書館サービスが促進された。</p> <p>モデル学校図書館と子ども図書館の設立及び人材の育成を通じて、対象地における子どものための図書館サービスが学校及び地域住民、地域のNGOなどによって促進されている。</p>
(2) 活動内容	<p><b>(1) 学校図書室の普及のための基盤強化</b></p> <p><b>1-1 学校図書室に関する運営システムの構築</b></p> <p>1-1-1 関係機関との調整</p> <p>1-1-6 モニタリング・指導の実施</p> <p>教員養成校と教育省、県教育局との調整を継続して行った。主な調整の内容としては、学校図書室の普及のための活動（図書館員の研修やイベント・キャンペーンの開催等）が円滑に行われるため、各機関との連絡や連携、また終了した活動の報告等が挙げられる。</p> <p>また、3年次対象校に学校図書館ガイドブックを配布した後に、1～3年次の対象の学校図書館にて、本ガイドブックに沿った運営やサービスが展開されているか定期的なモニタリングと指導を行った。カブール県の対象校1校の図書館員1名が新規採用となったことを受け、当人に対して学校図書館ガイドブックに基づく研修を実施した。本研修は、1-3の活動において養成されたトレーナーによって実施された。</p> <p><b>1-2 モデル学校図書館の建設</b></p> <p>1-2-1 ラグマン県大規模小学校でのモデル学校図書館建設</p> <p>1-2-2 家具、本の供与</p> <p>1-2-3 施設維持管理研修</p> <p>1-2-5 追加図書の配布</p> <p>ラグマン県の大規模小学校の敷地内にモデル学校図書館1棟を建設した。管轄省庁との調整及び許可の取得時間を要し、建設開始が11月となった。しかし、着工後の作業は順調に進み、関係者と各工程において合意を取りながら進め、期間内に竣工することができた。建設完了後、家具の調達と配置、図書の配架を行った。当モデル学校図書館は対象の大規模小学校へ移譲した。</p> <p>当モデル学校図書館が、地域住民及び学校関係者により長期的に維持・管理されることを目的に、関係者に対し施設維持管理研修を実施した。本研修は、建物の施設管理方法に関する内容と施設の環境整備や図書の扱いに関する利用者向けの内容で構成される。以下、本研修の参加者数である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修参加者数：運営管理者5人、教員10人、地域住民10人</li> </ul> <p>また、1年次と2年次に建設したモデル学校図書館にて、絵本をはじめとした図書のニーズが高いことを受け、図書の追加配架を行った。以下、対象校と追加図書の冊数である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年次対象校への追加図書冊数：340冊</li> <li>・ 2年次対象校への追加図書冊数：304冊</li> </ul> <p><b>1-3 教員養成校職員等の知識、技能の向上</b></p> <p>1-3-4 教員養成校（TTC）職員、教員研修</p> <p>2年次に養成したトレーナーによって、学校図書館ガイドブックに沿った教員研修が行われた。3年次において、本ガイドブックは、ラグマン県の学校図書館建設対象となった1校及びその周辺の5校の計6校に5冊ずつ、計30冊配布された。本研修は2022年の6月から7月にかけて対象となる3県の対象校にて実</p>

施された。参加者は、学校長や教員、学校図書館員などの計 90 名である（各県 30 名ずつ）。研修の内容習得の理解を測るため、事前事後の自己評価を実施した。事前自己評価の平均は 4 点満点中 2.34 点であった。事後自己評価の平均は 3.88 点に向上し、本研修を通して、学校図書館ガイドブックの内容について理解度が向上したことが伺えた。1-1 で上述のように、研修後、定期的なモニタリングにおいて、本ガイドブックの活用や活動状況の確認を行った。

#### 1-4 ネットワーク構築

1-4-1 学校図書室に係る関係機関（NGO など）との協議

1-4-3 図書館活動に関する啓発キャンペーンの実施

2021 年の政変後、図書館や図書に関する活動を行っていた NGO を含む多くの関係機関が活動を停止した。それを受け、当会では、教育省の関連部門と連携し、事業対象地域の大規模小学校を中心とした学校図書館クラスターを活性化させ、図書館活動に関する啓発キャンペーン等の調整、定例会議を実施した。

図書館活動に関する啓発キャンペーンとしては、ナンガハル県の 6 校とラグマン県の 6 校において、移動図書館活動を実施した。本活動では、学校児童や地域の子どもに読み聞かせや図書の貸し出しを行うことで、学校図書館サービスの認知を促した。

### (2) 子ども図書館整備

#### 2-1 子どものための図書館の設立

2-1-4 図書館の建設

2-1-5 地域住民との調整

ナンガハル県に子ども図書館を 1 棟建設した。建設過程において、1-2 と同様に地域住民等の関係者と各工程の合意を取りながら進め、期間内に竣工した。建設後は、家具の調達と配置、図書の配架を行った。当子ども図書館の運営・管理が、対象地域のコミュニティとその代表を中心に行われるように調整を進めた。竣工後は当地域コミュニティに移譲した。建設許可の取得に係る管轄省庁との調整に時間を要し、10 月に着工した。建設及び家具と図書の設置は事業期間内に実施できたものの、当初計画していた竣工式の開催は事業期間内に実施することができなかった。そのため、事業期間外に自己資金にて本活動を実施した。

#### 2-2 図書館員の育成

2-2-3 図書館員の能力強化研修の実施

2-2-4 啓発イベントの実施

子ども図書館活動を実施するため、子ども図書館活動ガイドブックに沿った能力強化研修を 2023 年 6 月に実施した。研修対象者は当図書館にて勤務する図書館員及び地区の公共図書館にて勤務する図書館員計 9 名である。研修の内容習得の理解を測るため、事前事後の自己評価を実施した。事前自己評価の平均は 4 点満点中 2.67 点であった。事後自己評価の平均は 3.96 点に向上し、本研修を通して、子ども図書館ガイドブックの内容について理解度が向上したことが伺えた。

また、子ども図書館活動やサービスに関する理解促進を目的とした啓発イベント及び既存の子ども図書館の視察ツアーを実施した。啓発イベントにおいては、子ども図書館活動についての講和やその効果について協議を行った他、建設中の子ども図書館の視察等を行った。竣工後に勤務予定の図書館員及び公立図書館に勤める職員の計 6 名が上記のイベントとツアーに参加した。

#### 2-3 普及職員の能力強化

2-3-2 トレーナー研修の計画

2-3-3 トレーナー研修の実施

1-4 に上述の通り、政変の影響により図書館や図書に関する活動を行っていた NGO を含む多くの関係機関が活動を停止した。それにより、子ども図書館の職員

	<p>に研修を実施するトレーナーの候補が不足したため、トレーナー研修を実施することができなかった。代わりに、本事業のプロジェクトマネージャーと子ども図書館スタッフが子ども図書館ガイドラインを見直し、研修の計画化を行った。本計画に基づき 2-2 に記載の図書館職員対象の研修を実施した。</p> <p><b>2-4 関係者間（地域コミュニティ、NGO、学校など）の連携強化</b></p> <p>2-4-1 ネットワークの構築</p> <p>2-4-2 地域でのコンサルテーション会議</p> <p>ナンガハル県において、地域の図書館間のネットワークの構築を目的にクラスター会議を開催した。また、同時に子ども図書館の運営や活動の実施に関わる関係者間の連携強化を目的に、コンサルテーション会議を開催した。本会議には、情報文化局職員や NGO 職員、県の公共図書館職員、そして地域住民の計 18 名が参加した。会議において、図書館活動の促進についての討議や、本クラスターの継続的な連携の必要性について話し合った。</p> <p>本事業において、事業の進捗確認、実施に関わるインプット、完了した活動の支出管理（証憑原本の確認）、セキュリティ対策を含む事務所運営に関わる調整業務のため第三国会議を計画時に予定していた。しかし、アフガニスタン周辺国の情勢の変化また治安の悪化により、本会議を 2023 年 5 月後半から 6 月前半にかけて本邦にて行った。現地職員の来日時には、業務調整また情勢変更に伴う対応について協議を行った。</p>
<p>(3) 達成された成果</p>	<p><b>成果 1. 学校図書室普及のための基盤が強化されている。</b></p> <p>指標 1-1：配布された学校で、学校図書館ガイドブックが有効活用されている。 実績：学校図書館ガイドブックが配布された全 18 校において、図書館員と関係者が、本ガイドラインを有効活用していると回答し、またその様子が定期モニタリングから伺うことができた。本ガイドラインは 2022 年の 6 月に 1 年次、2 年次対象校に配布され、研修時にその利用方法や参照方法の説明を行った。3 年次対象校においては、2023 年 5 月に配布し、同様の研修を行った。</p> <p>指標 1-2：モデル図書館を有する学校が、図書館普及のモデル校として、機能している。 実績：1 年次対象校の Wahdat 女学校のモデル学校図書館の月平均の利用者数は延べ 412.5 人で月貸出図書数は 97.5 冊であった。調査対象期間は 2022 年 5 月～10 月、2023 年 3 月～6 月で、2022 年 11 月～2023 年 2 月までは、学力テストと冬期休暇により閉館した。 2 年次対象校の BiBi Zainab 女学校のモデル学校図書館の月平均の利用者数は延べ 2029.13 人で月貸出図書数は 408.38 冊であった。調査対象期間は 2022 年 9 月～2023 年 4 月で、2023 年 5 月からは、夏季休暇により閉館した。 上記の通り、設定した値を上回る利用者数と貸出図書数が確認された。</p> <p>指標 1-3：2 年次 3 年次のコンサルテーション会議にて、学校図書室に対する改善点が提案されている。 実績：新型コロナウイルスの影響及び 2021 年の政変による教育省の人事体制変化により、本活動を 2 年次に実施することができなかった。そのため、2 年次において、学校図書室に対する改善点等の提案を得ることができず、3 年次において該当する指標の取得ができなかった。しかし、3 年次にはナンガハル県において、コンサルテーション会議を実施し、図書館活動の促進についての討議や、本クラスターの継続的な連携の必要性について話し合った。今後、定期的な訪問等を通して、討議した内容を基により良い学校図書室の運営がなされるよう促す。</p> <p><b>成果 2. 情報文化省管轄の子ども図書館が整備されている。</b></p>

	<p>指標 2-1:学校にいけない子どもたちが、アクセスできる教育の機会がある。 実績：2021 年に起きた政変後、管轄省の体制が変わり覚書の取得に時間を要するようになった。本活動においても、建設許可の取得に時間を要し、当初 4 月に着工し 10 月に竣工予定だったのが、建設の開始が 10 月となり 2023 年の 6 月に竣工した。そのため、子ども図書館活動開始後に予定していた月の利用者数を収集することができなかった。</p> <p>指標 2-2：情報文化省・局が組織的、財政的に子ども図書館を運営できている。 実績：本活動においても、子ども図書館の竣工に遅れが出たため、情報文化省・局による組織的、財政的な運営についての指標を取得することができなかった。</p>
<p>(4) 持続可能性</p>	<p>ラグマン県に建設したモデル学校図書館及び供与した家具や図書は、対象である Sultan Ghazi 女学校へ譲渡した。また、ナンガハル県に建設した子ども図書館と家具、図書はコミュニティの図書館運営責任者へ譲渡した。本年次において、施設維持管理研修をラグマン県の学校関係者とナンガハルのコミュニティを対象に実施したため、譲渡後の維持や管理が長期的に行われることが期待される。また、ラグマン県においては、図書館活動に関する啓発キャンペーンを実施した。それにより、本校周辺の学校に在籍する児童や教員が、建設したモデル学校図書館を積極的に利用するし、当地域における、今後の図書館利用やサービスの波及が期待される。</p> <p>今年度対象の両県において、ネットワーク構築を行った。本活動において、建設された図書館が地域住民や学校職員によって長期的に利用され、またそのサービスが向上していくように、継続的な連携の必要性について話し合った。</p>